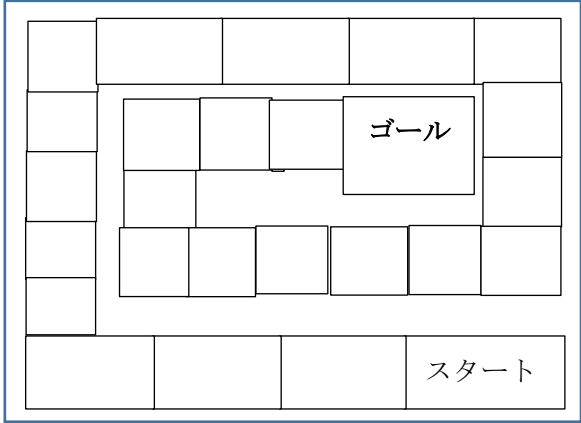


【作品名】 「手作り双六」	【学校名】 日立市立豊浦中学校
【活用できる領域・教科等】 聞く・話す・コミュニケーション・対人関係・国語	【制作者名】 鬼澤 裕子
【制作の意図】 友達と協力しながら双六のコメントを考えたり，意見を言ったり，楽しみながら自作のゲームを制作することができる。双六のコマのコメントは，誰もが話しやすいように「好きな～は何？」「きのうのこと」「100万円あったらしたいこと」「3コマ進む」など簡単な質問を自由に考えさせる。 集中して話を聞くことが難しく，友達とのコミュニケーションを苦手とする生徒でも，双六作りや自作の双六ゲームに取り組むことで，自分自身について語ったり，友達の話に耳を傾けたりしながら楽しくコミュニケーションを図ることができる。	【使用方法】 ① 手作り双六を友達と相談しながら制作する。双六のコマのコメントを自由に記入する。 ② コマやサイコロを画用紙で作る。 ③ 「手作り双六」で遊ぶ。2人～5人程度。 ④ 双六の約束：友達が話している時は最後まできちんと聞く。友達のコメントを聞いて，自由に発言してもよい。友達の話や友達を否定しない。 ⑤ サイコロを振る順番を決める。(じゃんけん等) ⑥ サイコロを振って出た目の数だけ進み，止まった場所のコメントに従って話す。友達の話を聞いて，自由に話す。 ⑦ 先にゴールした人が勝ち。
【制作上の工夫】 双六のコメントを自由に記入することで，互いを認め合い協力して双六を自由に作っていく。手作り双六で遊びながら，自分自身について話したり，友達の話を知ったり，楽しく遊びながら友達とのコミュニケーションを図ることができる。	【見取り図】 
【写真】友達と相談しながら双六を制作中 	【使用効果と応用発展】 双六制作や手作り双六での遊びを通して，友達と相談したり，協力したりして，楽しみながら活動する。その中で，自分自身のことを話したり，友達の話に耳を傾けたりして，コミュニケーションを図ることができる。 他の種類の双六を自由に作ることを通して，何度も友達とコミュニケーションを図るきっかけができる。
【材料・材質・部品等】 板目用紙・画用紙・サイコロ・はさみ・のり	